

【平成22年度事業報告】

【カテゴリ / 総会】

【2011年 第14号 掲載】



平成22年度事業報告

1. 一般事項

(1) 2011年3月11日マグニチュード (M) 9.0の巨大地震と大津波が東北沿岸部等を襲った東日本大震災は多数の死者、行方不明者2万7千名を超え被災者は厳しい避難生活を送っている。福島第一原発事故による放射能汚染による人体への問題、環境汚染・農作物への不安はさらに広まり、被災地では復興へ向けた歩みが始まったが、道筋はまだ定まっていない。

当協会の上部組織である (社) 日本設備設計事務所協会では、被災地支援の方法を協議し地区協会の支援とともに募金活動を実施し、その支援金を福島、岩手、宮城、茨城の各協会を通して支援金を送付することになりました。当協会としても支援金を送付いたしました。会員の皆様にはご協力いただきありがとうございました。

(2) 建築設備士試験の年一回の実施については従来各主要都市で開催されていましたが、平成21年3月に (社) 建築設備技術者協会、(社) 建築設備技術協会沖縄支所、(社) 沖縄県設備設計事務所協会、三者により試験実施機関である (財) 建築技術教育普及センターへ要請したところ、今年6月に沖縄県で実施されることになり、多数の受験申込みがあ

りました。全員の合格を祈念いたします。

